

2018年10月20日

第5回 ACP ファシリテーター養成研修

【修了者】

大府東浦近郊

1) 米本可奈

住宅型有料老人ホーム 介護福祉士

知多+

2) 松山曜子

すみれ訪問看護ステーション 看護師

3) 榊原貴代

市立半田病院 社会福祉士

4) 新美哲子

市立半田病院 看護師

5) 成田克也

市立半田病院 看護師

6) 松岡裕子

市立半田病院 看護師

7) 水上裕美子

市立半田病院 看護師

圏外

8) 樋口早映子

神戸市看護大学大学院（神戸） 看護師

9) 井田逸郎

国立病院機構高崎総合医療センター精神科（群馬） 医師

10) 瀧澤茜

北アルプス医療センターあずみ病院（長野） 看護師

【ファシリテーター】

1) 大城 京子

居宅介護事業支援所レモンの樹大府 介護支援専門員

2) 斎藤多恵

刈谷総合分院 看護介護

3) 花岡 雅子

北信総合病院 JA長野厚生連（長野） 看護師

4) 三田幸司

MOA 健康生活館半田一和ぎー 療法士

5) 西川 満則

国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部 医師

【参加者意見】

- ・(繰り返し参加することで) 前回の復讐を兼ね、前回解りにくかった箇所も理解できるようになりました。
- ・ロールプレイでいろんな役を演じることにより、演じる立場により感じ方、考え方が思った以上に変わるのに驚きを感じました。
- ・傾聴などのスキルは会話の中で使えると「相手の方」が話やすくなっていることが感じ取れました。
- ・「死」に対して「本人」として、「代理決定者」としてどう考えるのか何をすべきか、介護はいつ必要なのかその時間に誰がするのかまたどこですのかなど具体的な話を想定でき、大変勉強でき参考になりました。
- ・いろいろな立場の人が協力して目的に向かって合意形成を形作ることが大切なこと、重要なこととの認識を深められました。地域での広がりにも努めていきたいと思えます。
- ・今回の研修は、参加するハードルが低い(e-ラーニングを受けるだけで申し込める)ことが、とてもよかったです。こういった研修に、「参加したいな」と思った時にすぐ参加できる、というのは、ACP を地域に広げていく活動として、とても良いことだと思いました。「少人数で、気楽に参加できる」雰囲気がとてもよかったです。
- ・ほかの参加者さんとお話しできたのも、とてもよかったです。自分が経験していないような職場や場面でACPがなぜ必要とされているか、現場の専門職の生の声が聴けたことが、私にとっては学びでした。
- ・この研修に参加したことで、ACP に取り組もうとしている仲間がたくさんいるんだと実感できました
- ・ACP講座本当にお世話になりました。私は、主に認知症や身体的に介護度の高い入居者と接してきたのですが、文字通り「意思決定の難しい対象者」のターミナルのケアの在り方に、ケア職として疑問と後悔をたくさん抱くことがあり、看取りの場面に遭遇するたび「これで良かったのか？」と自問自答してきました。
- ・仕事を通じて出会った方から、より良いケアを提供する為には、自己研鑽と他職種との繋がりや連携が必要だと学ばせてもらえる機会があり、そこからこの研修へたどり着きました。それも偶然というか必然というかなんとも言えない、まるで引き寄

せられるような感じで、求めれば与えられるというような機会の連続でした

- 正直当日も、最初は看護職や医師などの医療職の方が多くて少々気おくれもあったのですが、普段一番対象者と密接に関わる介護士だからこそ持ち得る情報は、医師やセラピストなどの専門的な観察力や検査と同等か、またはそれ以上の力を持つのだという自負と、一番長くかかわるケア職としての責任感と誇りを持って仕事をしたいとも考えていたので、それをしっかり実践し、更に活かして今後はもっとアセスメントの精度を高められるよう働きかけたいと思っていたところだったので、本当にあの研修はその理想の手法でした。

- 意志決定できない状態だとか、状況を把握できないところまで症状が進むと、認知症のご本人の望むことを捉えることは、なかなか難しいことだったりします。中には孤独な方や、家族がいても、その絆が壊れてしまってから入所される方も多く、こんな風になる前に本人と家族で「もしものときのこと」がしっかり話し合えていたらな…という思いが私には強くありました。

- それぞれの専門職が別の方向を向いては、やはり対象者の望むような、満足の幕引きのお手伝いはできないと常々思っていました。

- ACPファシリテーションの手法や技術を学んでみて、もっと多くのケア職にシェアして、これを共有したいと思いは前にも増して強くなりました。

- 研修を受けた今は、誰もが最期に迎える「死の質」は、まだまだこれからもっと良くできそうだと前向きに思えるようになりました。